

# 福島県浜通りから茨城県北部の地震活動

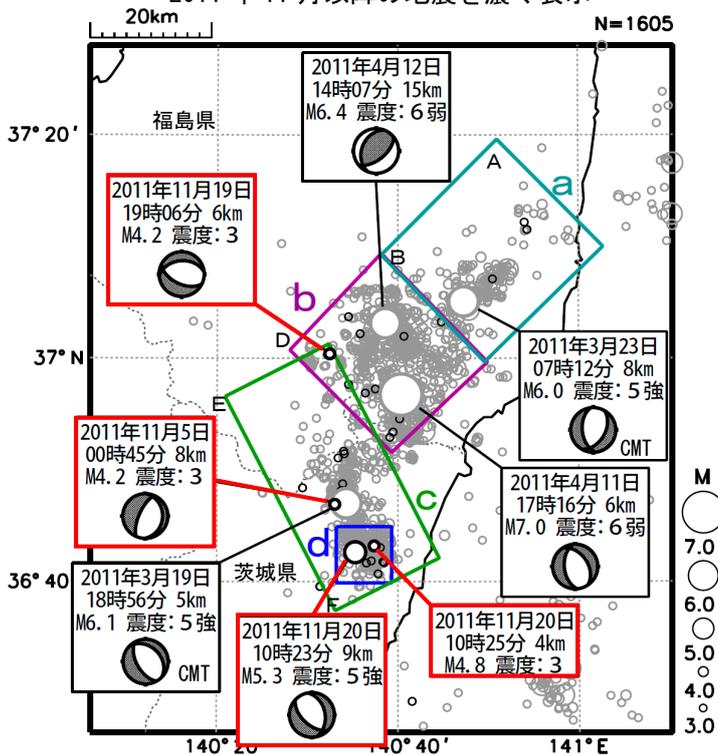
福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内では、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動が活発化している。これまでに発生した最大の地震は 2011 年 4 月 11 日に福島県浜通りの深さ 6 km で発生した M7.0 の地震（最大震度 6 弱）である。この地震により死者 4 人、負傷者 10 人の被害を生じた（総務省消防庁による）。この地震活動で発生している地震の多くは正断層型の発震機構である。活動は全体として、4 月頃までと比べると低下してきている。

2011 年 11 月には、20 日 10 時 23 分に茨城県北部の深さ 9 km で M5.3 の地震（最大震度 5 強）が発生した。この地震の発震機構は東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。この地震により負傷者 1 人の被害を生じた（総務省消防庁による）。この地震の発生後、震源付近（領域 d）では地震活動がより活発になった。

震央分布図\*

(2011 年 3 月 1 日～11 月 30 日、深さ 0～20km、M $\geq$ 3.0)

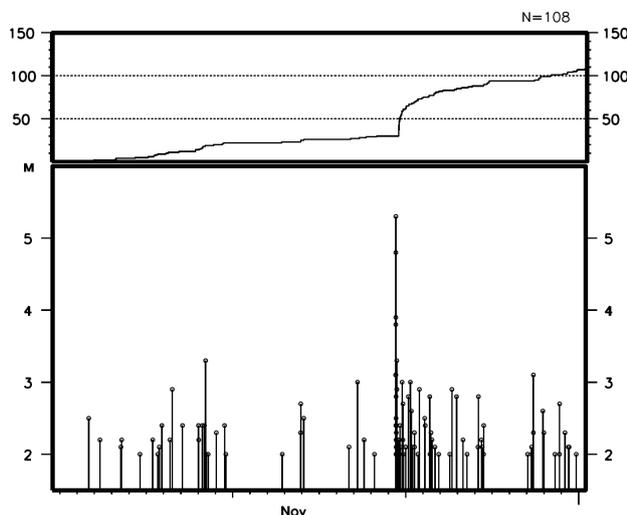
2011 年 11 月以降の地震を濃く表示



M6.0以上の地震と11月に発生したM4.0以上の地震に吹き出しをつけている。

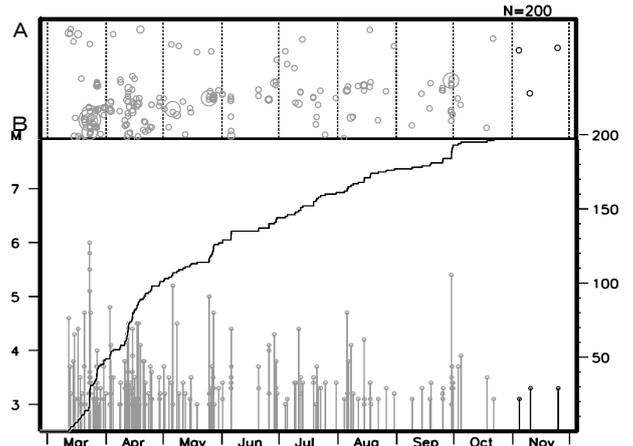
領域 d 内の地震活動経過図及び回数積算図

(2011 年 11 月 1 日～30 日、M $\geq$ 2.0)

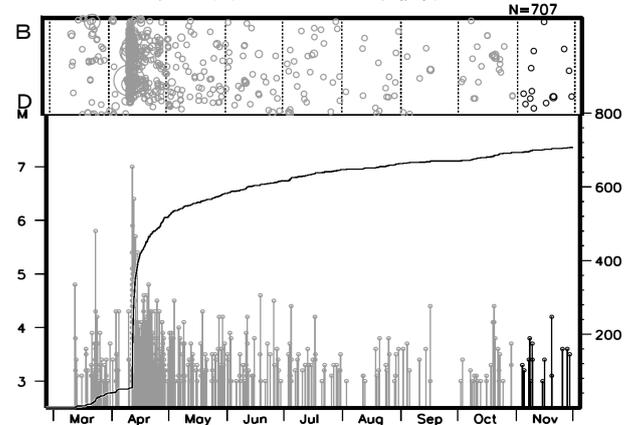


※ 2011 年 3 月 11 日、12 日は未処理の地震がある。

領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)、地震活動経過図及び回数積算図\*



領域 b 内の時空間分布図 (B-D 投影)、地震活動経過図及び回数積算図\*



領域 c 内の時空間分布図 (E-F 投影)、地震活動経過図及び回数積算図\*

